

競技注意事項

1 規則

本大会は2025年度日本陸上競技連盟規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

2 練習

- ・練習は補助競技場で行うものとする。**※周辺の公園内や駐車場内での練習は絶対に行わないこと。**
- ・フィールド種目の本競技場での練習は招集完了後、役員の指示に従って行うものとする。
(棒高跳を除くフィールド競技は招集完了以前には、フィールド内に入ることはできない。)
- ・練習は競技役員の指示に従い、危険防止に注意すること。

3 競技場

- ・競技場の開門時間は両日とも午前7:30の予定である。
- ・本競技場は全天候舗装である。トラックの厚さは約13mmである。フィールドは約18mmである。
走路の保全と競技者の安全のために、競技規則 TR5を参照されたい。
- ・競技用シューズについては競技規則 TR5を参照されたい。

4 招集

- ・招集場所は、100mスタート付近のスタンド下に設ける。招集に遅れた者は、欠場とみなし出場を許さない。
※棒高跳の招集は競技場ピットで実施する。
- ・招集完了時刻は次の通りである。
 - トラック種目(リレー種目を除く)・競技開始35分前から20分前まで。 ※リレー種目は7参照のこと
 - フィールド種目……………競技開始70分前から40分前まで。(女子円盤投・男女ハンマー投は除く、競技日程参照)
- ・選手は出場種目の招集完了時刻までに、招集所にてナンバーカードを付けたユニホームを着用し、競技者係にチェックを受ける。
- ・選手は競技開始10分前に、各競技場所にて最終点呼を受ける。
- ・代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する選手はその事を本人または代理人が競技者係及び出発係に申し出て了解を得ること。

5 アスリートビブス(ナンバーカード)

- ・アスリートビブスのナンバーは登録番号とし、顧問総会で配付した数字サンプルを使用して各自で作成(男女共に黒)して2枚をユニホームの胸と背に結着すること。ただし跳躍種目は、1枚を胸または背に結着するだけでもよい。
- ※トラック種目は、招集場所で腰につけるレーンナンバーカードを渡されるので、右腰に結着する。フィニッシュ後、返却しない。
- ※男子5000m、女子3000m、男女5000mW、男子3000mSCについては招集場所で特別ナンバーカードを渡されるのでこれを結着する。フィニッシュ後、返却しない。

6 トラック競技の組走路順、フィールド競技の試技順について

- ・トラック競技一次予選の組走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに示す。
- ・トラック競技二次予選の組走路順は本部で抽選し、掲示板に掲示する。
(シードレーンは種目により異なり、2025年度競技規則 TR20.4.3～5を用いる)
- ・トラック競技のスタートは1回目の不正スタートで失格とする。
※スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)を与えられる事がある。
・競技規則 CR18.5の規定により、違反があった競技者やリレーチームにイエローカード(以下、YC)を掲示し警告を与える。
- ・2回のYCの掲示を受けた競技者は、2回目の種目を失格とする。YCは種目を超えて累積され、以降の種目に参加することができない。
- ※800mについては、100mまでセパレートレーンとする。 ※男子5000m、女子3000mは段差スタートとする。

7 リレー競技について

- ・リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し招集完了60分前までに競技者係に提出する。
- ・リレー競技においては、ユニフォームは同一チームが確認できるものとする。
- ・4×100mRでは1人1ヶ所に限りマーカーを使用することができる。

8 計時

- ・トラック種目についてはすべて電気計時(1/100秒)で行う。
- ・各種目の競技結果は、アナウンスのほか、ダッグアウト下通路に掲示する。

9 県大会進出について

- ・令和7年度県高校総体8位入賞者(入賞種目に限る、リレー・混成競技を除く)でシード権を行使する者は直接県大会へ出場できる。
ただし、その種目に出場する者は上位16位以内に入らない場合、県大会への出場はできない。(プログラム最終頁にシード権行使者一覧を記載) ※混成競技は資格審査により、県大会への出場権を得る。
- ・トラック種目、フィールド種目共、上位16位は県大会に出場できる。ただし、走高跳は決定戦を行い決定する。
※ただし、走高跳は県大会参加標準記録突破者とする(女子1m45、男子1m75)。突破者が8名に満たない場合のみ、各地区8名を上限に記録上位者から拾う。同順位で並んだ場合は、決定戦を行う。
- ・トラック種目で次のラウンド決定において同タイムの競技者が出た場合は写真判定を細部まで読み取り優劣を判定する。その際、**1000分の1秒以上の差**があれば優劣を判定する。ただしそれでも判定できない場合は抽選とする。県大会へ進出する16位の決定において、1000分の1秒以上の差がない場合は、抽選をせず県大会へ出場できる。

※1 各地区での県大会出場枠に参加者が満たない種目の出場権については、招集完了時に県大会出場枠以下(エントリーが出場枠以上でも)であったとき、県大会出場権獲得とする。ただし、招集完了時に出場枠以上で競技が開始された場合、失格等があった出場枠に満たなくなった時の補充はしない。

※2 シード選手の地区予選会へのオープン参加は認めない。

10 フィールド競技について

- ・フィールド競技の計測ライン及びびバーの上げ方は、各審判主任の指示によるものとする。各種目最終点呼時に確認されたい。
- ・ただし、走高跳については次のとおりとする。

	1	2	3	4	5)	6
男子	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	標準記録以降は 各地区で決定
女子	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	

- ・男女走幅跳、男子三段跳はAピット(フィールド側)、Bピット(スタンド側)で行う。※三段跳は男子11m・女子9mの踏み切り板とする。
- ・フィールド競技は3回の試技で競技する。(トップ8は行わない。)

11 用 具

- ・競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。
- ・ただし、棒高跳用ポール、砲丸、円盤、やり、ハンマーについて検査を受け承認されたものに限り、個人所有のものが使用できる。(検査は、各種目競技開始1時間前までに用器具庫前にて行う。競技順序参照) ※検査は招集ではないので注意すること。
- ・競技用シューズの靴底の厚さについてはトラック・フィールドとも 20mm 以内を守ること。(競歩は 40mm 以内)

12 抗 議

競技規則TR8によって行うこと。

13 そ の 他

- ・競技会で発生した傷害については主催者側で応急処置をする。
- ・プログラムにミスがある場合には本部総務まですみやかに連絡すること。
- ・参加各校の顧問は、競技役員または補助役員を行っていただきます。
- ・8:30までに参加各学校より1名以上の補助員を出し、本部前に集合させること。
- ・参加選手についてもフィールド種目の準備等について出来るだけ協力すること。
- ・本大会について不明な点がある場合には、顧問または生徒の代表が本部総務まで問い合わせること。
- ・本競技場メインスタンドでのテント・部旗・横断幕等の張り出しは禁止する。
- ・本競技場メインスタンドでの集団応援は禁止する。
- ・競技運営に支障をきたす応援は慎むこと。(特にフィールド競技中のグループ応援等)
- ・競技場内での付添い及び応援は一切禁止する。
- ・更衣室は更衣のみに使用し、シート等を敷くことを禁止する。※ レストハウスは一般の方々も使用します。
- ・競技場内に商品名、会社名のついた物を持ち込むことは、アマチュア資格に抵触するので厳に慎むこと。
- ・貴重品は各自で保管し、紛失には十分注意すること。
- ・助力については、競技規則TR6を参照すること。録画再生機器や録画映像は、録画映像を提供する者のすぐ近くの位置(コーチボックス近辺)であれば、競技区域内に持ち込むことが認められる。
- ・男女の各リレー種目で県大会への出場権(16チーム)を得た学校で、県大会へのメンバーの変更を希望するところは、その日の競技が終了後、ただちに本部記録係に申し出ること。
- ・本部裏の通路、及びゴール付近1・2番倉庫前お通行の妨げになるのでシートやマット等で占有しないこと。
- ・三ツ沢公園では競技場外にテントシート等で占有スペースを設置しないこと。
- ・ゴミについては各自持ち帰りを原則とする。

☆学校受付について

各参加校の引率顧問の先生方は大会当日8:00~8:30の間に本部審判受付にて学校受付を行ってください。

※顧問の引率がない場合は、高体連試合参加規定により選手の出場は認められません。

☆安全対策について

- ・競技会に参加の競技役員、選手、補助員以外はトラック、フィールドに立ち入らない。
- ・本競技場、サブトラックでは決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。
(※本競技場において1,2,3レーンは、周回練習に使用し、5,6,7,8レーンはスプリント練習等で使用する。状況によって変更の指示があります。)
- ・周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先する。
- ・トラック、フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行う。
- ・ウォーミングアップの際、事故防止の為に、必要な声の掛け合いを行う。
- ・投てき物を持った状態での空ターンや助走練習は、公式練習以外では行わない。
- ・投てき物(やり等)の回収の際も周囲の安全に十分に配慮すること。
- ・チューブ・メディシンボール等の器具を使用しての練習は安全面から行わない。(サブトラックその周辺を含む)

三ツ沢公園レストハウスの使用について

三ツ沢競技場レストハウスは陸上競技場に付随する占有施設ではありません。レストハウス内のトイレ・更衣室・通路は共用スペースですから、占有使用は認められておりません。よって大会開催時にシート・マット等を敷き占有する等の使用方法は認められませんのでご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。尚、大会開催時に通路等に占有物が確認されましたら、大会本部として撤去いたします。